

## 昭和橋景観検討委員会設立趣意書

昭和橋は、昭和8年に架橋されたコンクリート橋であるが、現状の橋は、気仙川沿いに立ち並ぶ蔵並みと調和し、歴史を感じさせる景観を作り出しており、町を代表する景観スポットのひとつとなっている。

一方、橋脚の間隔が狭いことや、河底から橋桁までの高さが不足している現状では、増水時に流木などが川の流れを阻害し、昨今の全国的な大雨洪水被害の激甚化も相まって、周辺地域に被害を及ぼす恐れが増している。

これらのことから、地域住民の安全な生活を守るためには昭和橋の架け替えが必要となるが、現在の橋が優れた景観を形成していることや長年にわたり地元住民に親しまれてきた橋であることを踏まえ、架け替えにあたっては地元住民から広く合意が得られるような計画にする必要がある。

本昭和橋景観検討委員会は、景観や橋上利用を含めたまちづくりなどの観点から事務局が提案する橋の架替計画案に対して審議を行い、地元住民の合意形成が広く図られ、将来の昭和橋のあり方にふさわしい架替計画の立案に資する提言を行うことを目的に設立するものである。